

2024年 保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2025年2月19日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス我孫子教室

対象人数(保護者) 32人 回答者数 29人 回収 90.6%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	教室からのコメント
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	5		1		活動の内容を工夫し死角をなくして安全に活動しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		5		人員基準は満たしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1		4	障害特性に応じての対応を指導者全員がしているとは思えません。(1件)	保護者様への周知ができておらず申し訳ございません。そのお子様にあった伝え方で、絵カードを使用したりサインを活用したりして、場所の説明や行動の説明をし誘導しています。指導方法は職員全員で共有しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	2		4		毎日の清掃や通年を通して環境整備を行っております。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27		1	1	障害特性と一括りにして個々を見ておらず、教科書通りに当てはめている印象。個々に合わせた適切な対応や親へのアドバイスも無く、専門性も感じられません。(1件)	個々に応じた目標に向け楽しく取り組めるよう行っております。また、職員研修を毎月行っておりますが、今後も専門性を高めるように努めてまいります。
	6 事業所がホームページ等で公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26			3		事業所全体で支援プログラムの研修に参加し周知しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	27	1		1	個々に合わせた十分な理解はしていないと感じます。(1件)	モニタリング時にご説明させていただいておりますが、HUG支援システムで支援計画書を公開させていただいております。利用者様と保護者様のニーズを真に理解できるように努め、将来に繋がる計画書を作成させていただきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			3		放課後等デイサービスガイドラインに沿った計画書を作るよう心掛けております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1		2		計画書の基づいた支援を心がけ、毎月計画会議を行い必要な時には見直しをしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1		2		個々に応じた目標に向けて毎回違うプログラムを考えております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	8	10		支援計画書に「地域支援」を行うと示されており今後の課題と考えております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	1	1	放デイに変わるあたり持ち物の説明がありませんでした。(1件)	個別に対応させていただいておりましたが、説明が行き届かず申し訳ございません。今後そのような事が無いよう周知徹底させていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27			2		モニタリング時に計画書を見ながらご説明させていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	8	6	9		ご家庭でもペアレントトレーニングなどが行えるよう、送迎時にできたことを多く伝えさせていただいております。今後も保護者様向けのペアレントトレーニング勉強会などを開催していきたいと考えています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1		2		送迎時にお会い出来ない保護者様にはお電話にてお知らせしています。ご心配な事がございましたら、お気軽にご連絡ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1	1	1	モニタリングは定期的であり話をする機会はあるが、前回は半分以上が否定で不快でした。子供の長所を活かしておらず、学校では見られない不安定な様子が多いようです。(1件)	言葉足らずで申し訳ございませんでした。半年に1回のモニタリングは必ず行っておりますが、気になる様子があった時には随時ご連絡をさせていただいております。モニタリングでは今後の課題について、お話しさせていただく場としてお考えいただけると幸いです。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2		1	配慮のない言い方をする指導者があり、不快になりました。できない点ばかり指摘したり型にはまった考えをするのではなく、子供それぞれの特性を理解した上でのアドバイス等が親としては望ましいです。(1件)	お子様の特性に応じてアドバイスを心がけておりますが、配慮が足りずに不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	8	13		支援計画書に「家族支援」を行うと示されており、今後の課題と考えております。保護者様にご意見を伺いながら計画していきたいと考えております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	4		6		ご心配な事がございましたらお気軽にご相談ください。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27		1	1	あまり配慮はないと感じます。(1件)	色々なお知らせをHUGで連絡することが多くなりましたが、その日のご様子など直接お伝えすることも大事だと考えております。些細なことでもございましたら対応させていただきます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	1		3		毎月のお便りやHUG支援システムで毎回活動の報告はさせて頂いております。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1		3		漏洩には十分配慮しております。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		8		契約時にご説明させていただいておりますが、安心していただけるよう周知の方法を検討してまいります。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			11		年2回の避難訓練を実施しております。HUG支援システムでお知らせしておりますが、皆様に簡単にご周知頂ける方法を考えてまいりたいと思います。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2		4		カウンター・ロッカーにはコーナークードを取り付け、入り口ドアにはチャイルドゲートを設置し内側から鍵をかけて飛び出し防止をしております。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			4		契約時にお伝えさせていただき、緊急時の連絡先のご記入をお願いしております。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	1	2	学校では見られない不安定な様子があります。指導員の経験や知識不足も関係しているのではどう思っていますか。具体的に詰めて話し合えずモニタリングの意味がないと思いました。(1件)	お子様と信頼関係を築きながら支援していきたいと考えております。また、職員の支援のための研修も毎月行っており、今後も研鑽に努めてまいります。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	1	3	完全にふざけていい場所と思っています。子どもが活動に集中できていなくても対応が不十分な印象です。指導不足も原因の一つに思えるのに、改善していこうという気持ちが見えず配慮がない発言にとっても驚きました。子どもをその気にさせるのが指導側なので改善を求めます。(1件)	益々楽しく運動できるよう工夫し、お子様たちが安心して通っていただけるように努力してまいります。また、貴重なご意見を頂戴いたしましたので今後の運営に反映できるよう努力させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2	1	1	夏休みなどの長期休暇時の活動時間を伸ばして欲しいです。(1件) 他からも指導者の様子を聞く機会があるが、疑問を感じます(1件)	頂いたご意見に関しましては、出来る限り対応させていただきたく検討させていただきますと考えております。今後も職員一同自己研鑽しながら、お子様の笑顔の為に支援していきたいと考えております。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス我孫子教室

公表日 2025年2月19日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	7		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	放デイの場合、人数が多くなるともう少し広い方がよいと思われる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による外部評価を行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5	・午後の利用時には送迎の関係もあり、メニューの打ち合わせをする時間がない。ただ取り組むメニューを見える場所に貼りだしており、準備物など役割分担で声を掛けながら出来ている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	担当者会議が開催され、出席依頼があったときに出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7	依頼があれば対応する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	個別に対応させていただいている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	公園などで交流することはある
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	開催され出席を依頼されれば積極的に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	日々の活動報告の中で、ペアレントトレーニングなどがやりやすい報告をし提案をしている。勉強会は今後の課題と考えている。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	保護者会等を開催していない。昨年保護者様の交流会を開催したが、出席者が少なく、開催の仕方を工夫していく必要がある。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	地域支援も計画書で示されているので今後の課題と考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			